

屋根・鉄部
(上塗材)

セミフロンルーフ

セミフロンルーフは、4フッ化フッ素樹脂と無機成分からなる、1液常温反応硬化形の弱溶剤フッ素樹脂塗料です。耐候性を向上させた4フッ化フッ素樹脂を採用し、さらに無機成分の導入により、従来のフッ素樹脂塗料に多く見られた主剤/硬化剤の調合が必要な2液型の塗料ではなく、1液型でありながら、2液型と同等以上の耐候性を有しております。さらにレベリング性が良く、作業性が良好であり、その仕上がり感は鮮やかな光沢感と鮮鋭性を得られる次世代の塗料です。

なお、1液弱溶剤タイプのため、下地塗膜に幅広く適合し扱い易く、環境にも優しい塗料です。

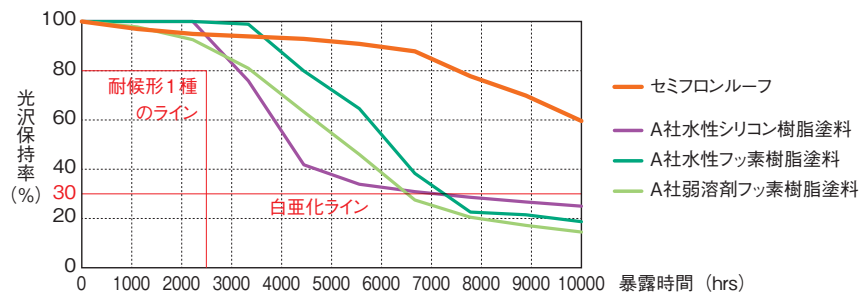
特長

- 1) 空気中の水分と反応し強固な塗膜を構築するので硬化剤調合の必要がありません。
- 2) 高耐候性能を有する為、メンテナンス周期の延長が可能になります。
- 3) 常温で硬化し、反応硬化形なので耐候性・耐汚染性に優れています。
- 4) 従来のフッ素樹脂塗料に比べて、耐屈曲性、耐クラック性に優れています。
- 5) 平滑性、高光沢性優れており、非常に鮮やかな光沢感を有しています。

促進耐候性試験 (XWOM)

JISK 5600-7-7 サイクル A キセノンランプ法

耐候形 1 種相当品



光沢保持率が 30% を下回ると塗替えサインとなります。

適用下地

屋 根: 新生瓦 (スレート、コロニアル)、セメント瓦、モニエル瓦、鋼板、トタン等塗替え塗膜のトップコート
 その他: 雨樋、雨戸 (鋼板) 等塗替え塗膜のトップコート

塗料性状

項目	内容
1 混合比	-
2 色	各色
3 艶	艶有り
4 比重	1.1
5 固形分	65
6 外観	有色液体
7 消防法による危険物区分	第4類 第2石油類

塗装条件

工法	材料名	塗回数	塗布量(kg/m ² /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
上塗	セミフロンルーフ	2	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~20%	工程間4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、 スプレー

※下塗り材は素地、旧塗膜の状態により適合下塗り材より選定下さい。

可使時間及び塗装間隔

季節	気温	塗装間隔
夏	25~35℃	3時間以上~3日以内
春・秋	15~25℃	5時間以上~3日以内
冬	5~15℃	8時間以上~3日以内

荷姿

15kg	8kg	4kg
------	-----	-----

適合下塗材

セミフロンルーフバインダーSi II・KFマイルドシーラーII・KFマルチウレタンプライマー・セミフロンエポプライマーII

使用上の注意

- 1) 以下の場合は、塗装出来ませんのでご注意下さい。
 - ・天候が悪い(降雨、降雪、強風)場合。
 - ・湿度が85%以上ある場合。
 - ・気温が5℃以下の場合や、施工後数時間以内に5℃以下になる可能性がある場合。
 - ・被塗物が水で塗れていた、錆、油等の遺物が付着している場合。
- 2) シンナーはターペンシンナーもしくは塗料用シンナーを使用して下さい。また溶解力の強い一般的なウレタン塗料用シンナー等で希釈しますと、旧塗膜を侵す場合がありますのでご注意下さい。
- 3) 過度の希釈は、乾燥の遅れ、たるみを生じますので十分注意して下さい。
- 4) スレート屋根の重なり部分に塗料が付着し、固着している場合、漏水の原因となります。タスペーサーを用いるか、皮スキ、カッター等を用いて溜まった塗料を除去、縁切りして下さい。
- 5) 波型トタンの場合、山部、折り曲げ部は塗料が薄くなり易い箇所になります。光に拾い塗りして下さい。
- 6) 塗装終了後は直ちに器具等を洗浄して下さい。
- 7) 使用前には缶を良く振って下さい。
- 8) 缶に残った塗料については、塗料表面が隠れる程度までシンナーを添加し、必ずキャップをして空気との接触を断って下さい。
- 9) 吸込みの大きい下地(石膏ボード等)の場合、塗料が吸い込まれる恐れがあります。
- 10) 空気中の水分と反応します。必要分のみ缶から出し、速やかに缶を密栓して下さい。長時間開缶状態で放置された場合、皮張り等を生じる恐れがあります。
- 11) 取り扱いには慎重に扱い、ラベルの注意事項に従って下さい。詳細についてはSDSをご参照下さい。

安全衛生上の注意

●本来の用途以外に使用しないで下さい。 ●使用前に取扱説明書を理解して、取り扱って下さい。 ●粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないで下さい。 ●取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。 ●必要に応じて個人用保護具を使用して下さい。 ●飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。口をすすいで下さい。 ●粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を受けて下さい。 ●暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡して下さい。 ●緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。 ●容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理して下さい。 ●施錠して子供の手の届かないところに保管して下さい。 ●直射日光や水漏れは厳禁です。 ●塗料などの缶の積み重ねは3段までとして下さい。 ●日光から遮断し、換気の良い場所で保管して下さい。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないで下さい。 ●内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄して下さい。 ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 □詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート(SDS)をご参照下さい。 □本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談下さい。